

問題2A-1 次の文章を読んで、後の問にこたえなさい。

解答と解説

「お昼の休み時間は、みんなでグラウンドに出て遊びましょう」

教師や学級委員がそう言うたびに、私はいつも心の中で疑問に思っていた。

(だって、休み時間なんだから、基本何をしてもいいんじゃないの?)

教室で静かにひとり本を読んでいたっていいんじゃないの?)

でもそうはならない。みんなでミニサッカー、みんなでドッジボール、みんなで鬼ごっこ・・・

参加しないと、その後にまるでこのクラスの一員ではないかのような冷たい視線を浴びることになるのだ。

だいたい、お昼の休み時間にまでみんなで同じ行動をすること自体に疑問を持っている人は、担任の教師も含めてこのクラスにはきっといないのだろう・・・

いや、私を含めて三人くらいはいそうな気はする。

しかし、それに対して **イギ** を唱える人はひとりもない。無論私自身も含めて。

だって **イギ** を言うこと自体が、すでに外れていることを示すことになるのだから。

そう、どこまでも合わせないといけないのだ、みんなに。

教師や生徒の多くは授業時間ももちろんのこと、休み時間でもみんなで動かないと気が済まないのだろう。

大人になった今でもやっぱり思うのは、つくづくこの国は団体行動が好きだということ。

それは集団に合わすという日本人が得意だとされることに慣れてしまっている大多数の人にとっては、なんの苦にもならないことなのだろう。

いや、もっと言うと楽なことだとさえ言える。

もちろん、みんなでの団体行動すべてに反対しているわけではない。

学校でのみんなでまとまって行動をするような運動会の練習や、列を乱さないで歩く遠足、勉強の進度が遅い子も早い子も等しく受ける授業というのは、その後の社会に出た時に必要となる協調性などのスキルと関係はあるだろう。いわばこれは、そのための訓練なのだ。

でも、場合によってはそれをちよつと息苦しいことだと感じる。

・文章の前半は、「文章の前半は、「団体行動が好きじゃなかった」という子ども時代のエピソード。

この子ども時代から時がたった昨今、状況に少しは変化があるように思う。

多様性、個々の尊厳を重んじる方向性が盛んに叫ばれるようになり、中学・高校の部活でも団体スポーツよりも陸上や卓球のような個人スポーツの方に人気がシフトして行っているのは、単に生徒の数が減少しているというだけでなく、時代の流れなのかもしれない。・部活も、団体行動が減っていることの具体例。

きつとこの変化はますます進んでいくのだろう。日本人が大好きだとされる団体行動から、個人それぞれの行動へ。大人数での団体バス旅行も減ったし、村や街の一致団結を確認するかのようなお祭りも、一部の地域では格段に減ってきている。・団体旅行やお祭りも、団体行動が減っていることの具体例。

ア 人気部活になってきたダンスなどが定着してきた状況を見ても、やはりそれはみんなで踊る「群舞」であり、某国のやっている一糸乱れぬ集団の軍事的な演舞とほぼ同じものに見えて、私には強烈な違和感がある。・ダンス部の群舞は団体行動で、筆者には違和感がある。

ダンスはソロかペアくらいの人数の方が、動きにキレがあって面白いと思うのだが・・・

(編井 一樹「いびつな真珠を上手く弾く」より)

問一 イギ の漢字を次の選択肢から選びなさい。

- | | | | |
|-------|------|-------|---------|
| 1 異義 | 2 意義 | 3 ◎異議 | 4 威儀 |
| 異なる意味 | 重要性 | 異なる意見 | 式典などの動作 |

問二 傍線部、訓練なのだ の主語を、指示語と句読点は含めずに4文字以上6文字以内で答えなさい。

団体行動(は)

訓練なのだ の直接の主語は直前の これは ですが、指示語では解答できない。これは の内容は前の二行の学校での具体例だが、これも長過ぎて解答にはできない。そうすると具体例を一段階抽象にしているさらに前の行の 団体行動 になる。

問三 この文章で筆者の主張は次の選択肢のうちどれか。

1 みんなの団体行動に合わせるということは、場合によっては窮屈に感じることもあるが、それはその後の社会に出た時に必要なスキルであり、これからも重要である。・後半が本文に無い。

2 ◎団体での集団行動は日本人の得意とすることで大多数の人々によって好まれてきたが、これからは個人の行動が尊重される時代になってきており、今後はますますそうなるだろう。

3 昔の教師やクラスメイトのほとんどは団体行動することに何の疑問の感じておらず、それには違和感を覚えたものだが、現代では個人の行動が優先されるように学校教育も改革されて欲しい。・学校教育の改革については本文で述べられていない。

4 団体行動から個人の行動へというのは時代の変化ではあるが、日本人の多くは依然として団体行動に慣れており、そうした日本人の特質までも無くしてしまうのはもったいない気がする。・ほとんど本文と逆の選択肢である。

5 陸上や卓球のような個人スポーツの部活が隆盛してきた昨今、ダンス部はなぜか群舞をしていて時代の変化に合っていないので、ソロやペアを主体の部活に変えていったほうがいい。・本文から逸脱はしていないが、部活の話はあくまで具体例であり筆者の主張ではない。

問四 ア に入る言葉を選びなさい。

- 1 それだけ
- 2 それだと
- 3 ◎それでも・空欄の前は団体行動が減っている話で、後はダンス部は団体行動の話なので、それでもが入る。
- 4 それから
- 5 それ以外